

授業報告紹介

学習競技「地図甲子園」

千葉県館山市立館山小学校 松田 雅司

本校では、4年生以上が参加する学習競技「甲子園プロジェクト」を実施している。昨年から、15分間で150の問題を解く「漢字甲子園」、10分間で100の計算を解く「計算甲子園」を開催してきた。興味関心を高め、漢字力や計算力を身につけさせるため、教師で「チーム甲子園」を編成し、開催している。

満点や最高得点を獲得した子どもたちに「博士」の称号を与え、子どものがんばりを称えてきた。4年生以上が学年の枠を取り去り、同じ条件で競うため、高校野球になぞらえ「〇〇甲子園」と命名した。



本年度から、子どもたちの要望もあり、日本地理への興味関心と社会科の基礎力の向上を目指して「地図甲子園」を行うことになった。今回のテーマは都道府県名。事前に問題

用紙・解答を配布し、競技は2週間後とした。

7月5日、午後1時、希望で体育館に集まった4年生以上186名が太鼓の合図で一斉に競技を開始した。8分間で30問（全て漢字）ということもあり、真剣に鉛筆を走らせていた。

結果、地図博士22名が誕生した。

今後、地図甲子園は、県庁所在地、主な山地・川、世界の地名などを内容を行う予定である。

実施後にとったアンケートなどから、この取り組みを通じて、子どもたちは、教科に対する興味関心を高めたばかりでなく、自分で計画をたて、学んでいくという主体的な学習態度も身につけてきている。